

vol.131

2026年3月号

公益財団法人国際障害者年記念 ナイスハート基金

〒105-0022 東京都港区海岸 1-4-26 ゆうらいふセンター

電話：03-3434-2170 FAX：03-5401-0681

URL: <https://www.niceheart.or.jp>

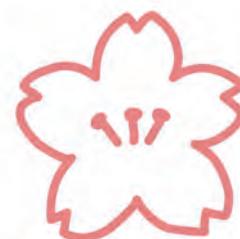


なごはあと



ノンバーバル・コミュニケーションワークショップ in ながの様子

表紙／写真 ノンバーバル・コミュニケーションワークショップ in ながの	1
報告／ノンバーバル・コミュニケーションワークショップ in ながの	2
寄稿／「その場でつながる、言葉のいない世界」	4
メイミさん（漫談家・介護福祉士・NPO 法人笑顔工場理事長）	
2026年度事業計画	6
2026年度ナイスハート・ふれあいのスポーツ広場上半期の開催日程他	8



ノンバーバル・コミュニケーション ワークショップ in ながの

主催 公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金

後援 長野県 / 社会福祉法人長野県社会福祉協議会

日程 3月10日(火)～11日(水)

参加施設 風ととくべえ / 障害福祉サービス事業所きらり / 上田悠生寮

ファシリテーター 庄崎隆志さん office 風の器主宰・俳優・演出家

メイミさん 漫談家・介護福祉士・NPO 法人笑顔工場理事長

ノンバーバル・コミュニケーションワークショップは、言葉を使わずになかなか伝わらないもどかしさを感じながら、じっくりと相手と向き合うための空間です。そこから、自分らしい伝え方、伝えられ方を学び合う場として、2011年度より東日本大震災等の被災地を対象として活動してきました。

今年度は2019年10月の台風19号の被害のあった長野県内の障害者施設で、庄崎隆志さん、メイミさんのご協力をいただき開催することができました。

～3月10日 スケジュール～

【午前の部】※参加人数18名※

- 09:20 風ととくべえ 到着
- 09:40 ワークショップ開始
理事長ご挨拶 / ハイタッチ / 1on1
ミラーリング
- 10:00 早着替え / 変身ショー
- 10:10 エアなわとび / パントマイム
- 10:25 エアボール
- 10:30 手のしばい・パントマイム
男と女の出会い
ナイスハートマークポーズ
- 10:35 ワークショップ終了

【午後の部】※参加人数51名※

- 13:10 障害福祉サービス事業所きらり 到着
- 13:30 ワークショップ開始
副施設長ご挨拶 / 手拍子
決めポーズ / みんなでポーズ
- 13:45 エアなわとび / 早着替え
- 14:00 変身ショー / ダンスミュージック
- 14:10 エア魚釣り
チェロの海 / 庄崎パフォーマンス
- 14:20 ワークショップ終了



～3月11日スケジュール～

※参加人数23名※

09:40 上田悠生寮 到着

10:05 ワークショップ開始

握手 / ハイタッチ

10:15 決めポーズ

10:25 1on1

10:35 早着替え / 変身ショー / 小道具

汽車ごっこ / ナイスハートダンス

ハイタッチ / 握手

10:50 ワークショップ終了



～ノンバーバル・コミュニケーション ワークショップ in ながの 参加者の感想～

・言葉があまりできませんが、よい表情でたのしそうにしていました。おもいだして、今後の生活がたのしくなるかな。

・かぞう芸やパントマイムやエアあそびが楽しかったです。

・（耳の不自由な利用者さん）

耳が聞こえない状態だけれど、みんなを巻き込んでコミュニケーションしてすごかった。自分も分かってもらえるようにやっていきたい。みんなの話の輪に入っていきたい、頑張りたかった。

・今日は、ナイスハートで手をあわせる運動をして楽しかったです。またナイスハートで楽しい運動をしたいです。

・利用者さんがいつもよりイキイキしている姿を見ることができて良かったです。はじめは「ワークショップって何やるの？」と緊張した人も多かったようですが、お二人の人柄の良さもありすぐ安心したようです。自分も前に出る機会をいただき楽しむことができました。

・今回の学びを日常や仕事の中で更に活かし、相手が安心して関われるコミュニケーションを大事にしていきたいと思います。特に利用者さんにとってわかりやすさがとても大切だと思います。喜怒哀楽をしっかりと表現することも意識していきたいと思います。

その場でつながる、 言葉のいらない世界

メイミ Meimi



共に講師を務める庄崎さんとは、毎度のことながら1年ぶりの再会でした。

打ち合わせは一つだけ。「最初はみんなとハイタッチを始めようね」

ただ、それだけです。

言葉のないコミュニケーションが突然始まるノンバーバルコミュニケーションワークショップ。

その大切な始まりは、手と手を合わせ、目と目は合ったり合わなかったりしながら、手から伝わる温もりを感じる“言葉のないあいさつ”からです。

その後の展開について一切打ち合わせはしないけれど、不思議と「大丈夫」という安心感があります。

それは、ノンバーバルコミュニケーションの力を確信しているからこそその感覚なのかもしれません。

最初に訪れた施設様で印象的だったのは、職員さんも一緒になってたくさん笑い、活躍してくださったことです。

自然とあふれる「一緒に楽しみたい!」という気持ちが伝わってきました。

この場を講師、参加者さん、職員さん、みんなで作っているような一体感に包まれていました。

体を大きく使うエアークロム跳びでは、最後は大縄跳びで盛り上がり、変身ショーでは参加者さんのパフォーマンスに居ても立ってもいられず、自前のウィッグで所長さんも登場。



大爆笑となり、笑い声の絶えないワークショップでした。

そして午後、二つ目の会場となる施設様へ向かいました。

実は上田へ到着した前夜、「今までやったことがないことができないかな」と考え、いくつかのアイデアを思いついていました。その一つが「釣り」をテーマにしたコミュニケーションです。

ただ漠然としたイメージで、細かい内容までは決まっていませんでした。

庄崎さんにはあえて相談せず、雰囲気を見てできそうだったらやってみる。どうなるかはその場次第。そんなスタンスで臨みました。

二つ目の施設様では、会場のホールにいくつかの絵が飾ってあり、その中に船の絵がありました。

「ここでやってみよう」と、その瞬間に決めました。

本番、次は何をしようかというタイミングで船の絵を指差し、変身ショーで使って



いた棒を持ち出しました。

私はその棒を釣竿に見立てるつもりでしたが、庄崎さんは船を漕ぐ道具として表現し、船長役を参加者さんにお願いしました。

「なるほど、それも面白い！」

そう思い、私も他の参加者さんと一緒にその船に乗り込みました。

そこから始まった即興劇は実に面白く、参加している皆さんそれぞれの想像が膨らんでいきます。

乗船している人は手で波を描き、さらには鳥になって船を攻撃してくる人も現れ、物語がどんどん展開していきました。

すると庄崎さんが「お腹すいたから魚釣りしよう」とジェスチャーで伝え、船を漕いでいた棒を今度は釣竿にしました。

「あ、繋がった！」

やりたいと考えていたことを言葉で伝えていたわけではないのに、思いがしっかり伝わった瞬間でした。

しかも、釣竿の餌が見ている参加者さんの口に入り、どんどん釣り上げられていくという、想像もしなかった展開に。

そのジェスチャーは皆にしっかりと伝わり、「えー嫌だなー」と言いながらも拒否することなく、その物語に参加し、船に釣り上げられていく人たちの姿がありました。

ここに言葉はありません。事前の相談もありません。

それでも、みんながその場に参加し、即興劇のように物語が展開していく。

言葉がなくても伝わることの気持ち良さを、強く感じる瞬間でした。

もしかすると、言葉であれこれ説明するよりも、ノンバーバルで伝える方が、ずっ

と自然に伝わるのかもしれませんが。

そして翌朝、三つ目の会場となる施設様へ向かいました。

ここはこれまでの施設様とは違い、個と個のコミュニケーション、つまり1対1の関わりが大切な場でした。

ワークショップという、参加者全員で一体感を持って行うものというイメージがあるかもしれません。

しかし、コミュニケーションの形は一つではなく、それぞれの様子に合わせて個別にやり取りを重ねながら、心の距離を縮めていく方法もあります。

これは日常でも同じです。

みんなと一緒に過ごす時間もあれば、個々の関わりが必要な場面もあります。

社会の中には、まだ「みんな一緒に」という風潮が根強く残っています。学校や会社など。

しかし実際には、「みんな一緒」が難しい場合もあります。

多様性と言われる時代の中で、まだ十分とは言えない部分かもしれません。

ノンバーバルコミュニケーションで心を通わせた経験は、きっと皆さんの日常にも活かされていくことと思います。

また私自身にとっても、今回の経験を通じて、その素晴らしさを改めて深める機会となりました。

ご参加いただきました施設様、関係者の皆様に、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。



2026 年度事業計画

1. ふれあいの広場事業

(1) ふれあいのスポーツ広場の実施

ふれあいのスポーツ広場は、障害の有無に関わらず、軽スポーツを通じ、共に楽しみ、交流することを目的とし、当基金設立時より実施している事業です。1992 年度以降は「全日本自動車産業労働組合総連合会（自動車総連）」より物心両面にわたるご支援をいただきながら、開催しています。

2025 年度は、昨年度同様に午前 3 競技に昼食とアトラクションを挟んで午後 1 競技を実施しました。競技そのものは以前と変わりませんが、開会式から交流が深まるように工夫を凝らし、参加施設と実行委員（組合員）と一緒に整列することに変更し、結果として、開会宣言を待たずに、参加施設と実行委員（組合員）が挨拶を交わす場面が見受けられる等、以前と比べて大幅にふれあう時間が増えました。

2026 年度は、ふれあいのスポーツ広場の意義・目的を踏まえつつ、多くの参加者同志の交流機会を増やし、より楽しんで頂けるよう、全都道府県での実施を目指します。

競技内容については、日本福祉大学の藤田紀昭教授を中心に、ユニバーサルスポーツをキーワードに、障害の種別や程度でなるべく影響の

少ないプログラムを柱に、昨年度の知見を踏まえつつさらなる深化に努めます。

引き続き、近年の猛暑にも対応すべく、多くの関係者、ボランティアの皆様のご支援をいただきながら、暑さ対策にも万全を期して全力で進めてまいります。

実施時期	2026 年 4 月～2027 年 3 月
開催地域	全都道府県を予定
開催数	全国 47 会場（予定）
共催	全日本自動車産業労働組合総連合会
後援	（予定）内閣府、スポーツ庁、開催都市、開催都市教育委員会等
協力団体	日本福祉大学 仙台ユニバーサルスポーツ研究会 （公社）日本エアロビック連盟



(2) ノンバーバル・コミュニケーション・ワークショップの実施

障害の有無に関わらずお互いが尊重しあえるように、ノンバーバル（非言語）という方法でコミュニケーションについて学ぶ場づくりをいたします。

2026年度には、2024年能登半島地震の被害のあった石川県内の障害者施設での実施を計画いたします。

実施時期：2026年度下半期

対象者：障害のある方、教職員、ボランティア等

ファシリテーター：庄崎 隆志氏

(office 風の器主宰・俳優・演出家)

メイミ氏

(漫談家・NPO 法人笑顔工房 理事長)



2. 開発、普及及び育成事業

(1) 各事業報告書の発行

当基金が事業展開をしている中で、障害の有無に関わらず共に楽しむことのできる手法や考え方を、多くの方に知っていただき、様々な活動の中で取り組んでいただけるように、下記の報告書を発行致します。

刊行時期：2027年3月

発行部数：当基金ホームページにおいても掲示
無償配布。

発行報告書：ふれあいのスポーツ広場
ノンバーバル・コミュニケーション・
ワークショップ

(2) ニュースレターの発行

当基金が設立以来事業活動の基盤として周知に努めている、障害の有無に関わらず共に楽しみ共に取り組みながら相互理解を深めていく「ふれあいの広場」事業に関して、その理念や活動内容、そしてプログラムの手法やイベント情報を中心に掲載した機関誌「ないすはあと」を年4回発行します。

発行月：6月、9月、12月、3月

発行数：当基金ホームページにおいても掲示
無償配布。

内容：ふれあいの広場事業に関わるプログラム内容、手法、実施の状況等

3. 調査研究事業

(1) ユニバーサルスポーツプログラム研究会の実施

ふれあいのスポーツ広場で実施しているユニバーサルなスポーツプログラムをより深化させ、また、ふれあいのスポーツ広場全体のプログラムのアップデートを図るために、同様の取り組みを行っている競技指導者の方々と、様々な立場の視点から意見交換を行い、ふれあいの事業に活かす意見交換会を実施致します。

実施時期：2026年度下半期予定

構成員：障害者スポーツの指導者
福祉関係者等



～2026年度ナイスハート・ふれあいのスポーツ広場上半期の開催日程～

自動車総連の皆様のご支援により全国各地で開催している「2026年ナイスハート・ふれあいのスポーツ広場」は、昨年度同様に午後までの開催を4月から予定していますのでよろしくお願いします。

(3月26日現在)

No.	開催地	日程	会場
1	鹿児島(鹿児島)	4月6日(月)	鹿児島市民体育館
2	宮城(仙台)	4月18日(土)	宮城広瀬総合運動場体育館
3	北海道(富良野)	5月12日(火)	富良野スポーツセンター
4	富山(富山)	5月16日(土)	富山市八尾スポーツアリーナ
5	岡山(倉敷)	5月16日(土)	水島緑地福田公園体育館
6	岩手(盛岡)	5月18日(月)	岩手県営体育館
7	山形(河北)	5月19日(火)	河北町民体育館
8	京都(京都)	5月24日(日)	京都市障害者スポーツセンター
9	福井(越前)	5月24日(日)	越前市アイシンスポーツアリーナ
10	奈良(斑鳩)	5月25日(月)	すこやか斑鳩スポーツセンター中央体育館
11	福岡(宗像)	5月27日(水)	宗像ユリックス
12	岐阜(岐阜)	5月27日(水)	岐阜県福祉友愛アリーナ
13	福島(須賀川)	5月30日(土)	円谷幸吉メモリアルアリーナ
14	滋賀(竜王)	5月31日(日)	竜王町ドラゴンスポーツセンター
15	徳島(鳴門)	6月10日(水)	鳴門・大塚スポーツパーク・アミノバリューホール
16	山口(防府)	6月14日(日)	ソルトアリーナ防府
17	高知(南国)	6月16日(火)	南国市立スポーツセンター
18	兵庫(神戸)	6月24日(水)	グリーンアリーナ神戸
19	栃木(宇都宮)	6月27日(土)	わかくさアリーナ
20	石川(金沢)	7月6日(月)	いしかわ総合スポーツセンター



ナイスハートなご支援を ありがとうございました

2025年12月から2026年3月迄の間に、当基金へ賛助会員加入や寄付金寄付金を頂戴いたしました。

いただきました資金は、それぞれの活動のために有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

【賛助会員】 藤田紀昭様

【寄附金】 合津正之様

